

サークル活動完了報告書

サークル名	3西・リラックスチーム	発表者	森井 葉子
		リーダー	森井 葉子
部署	3階西病棟	サブリーダー	近森 晃
活動期間	開始:平成24年 9月 1日 終了:平成25年 1月 31日	メンバー	新田 浩子・福永 陽子・花本 裕美
会合状況	会合回数 10回 1回あたりの会合時間 20分		
所属長/推進メンバー	和田 愛子	所見欄	
レビュー担当者	(株)麻生 向野 早苗		

テーマ

全身清拭時に足浴を同時に行うケア方法を試みて

テーマ選定理由

大腿骨骨折患者は入院時より牽引を施行していることが多く、術後2週間(抜糸施行)までは、シャワー浴や入浴をすることが出来ない。そこで手術後3日目(端座位許可時)からの全身清拭時に足浴を同時に行うケア方法により時間の短縮が図れ、より全身の爽快感が得られると考え上記のテーマを選定した。

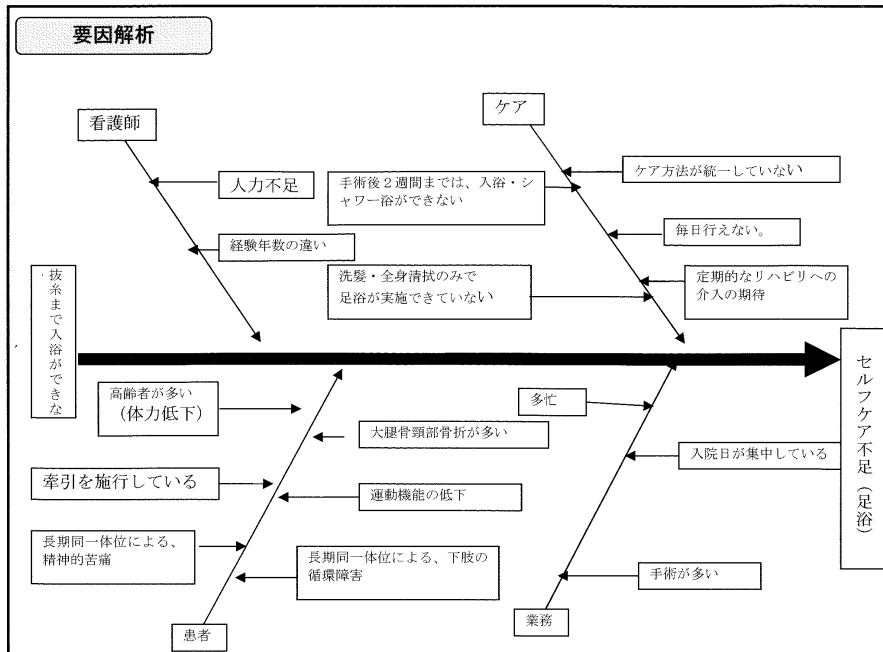
現状把握

当病棟は、大腿骨骨折患者の多い整形外科の混合病棟で、大腿骨骨折術後患者に対して抜糸までの2週間の清潔ケアは口腔ケア、全身清拭、陰部洗浄、洗髪にとどまっており、その他の清潔ケアとしての足浴が実施できていなかった。

目標設定

対象患者の全身清拭時に足浴を同時に実施することで、全身清拭と足浴を別々に行った時間との差が5分は短縮する。

全身清拭と足浴の相乗効果が得られる。



上記のように要因分析を行った。  
 今回は、術後 2 週間までは入浴、シャワーができない、長期同一体位による精神的苦痛に着目し下記の対策を立案した

**対策立案**

- 以下の対策を立案した。
- ・全身清拭と足浴、それぞれのケアにかかった時間と全身清拭時に足浴を同時に行った時間を測定
  - ・看護指示の全身清拭(手術後3日目以降)に足浴の実施指示を追加
  - ・ケア直後に患者への聞き取り調査
  - ・看護師への指導(清潔ケア方法)とケアに対するアンケート調査

**対策実施**

- 以下の方法で実施していった。
- ・手術後3日目(端座位許可時)から14日目(抜糸施行)までの間、患者の状態に合わせて1~2日間隔の全身清拭時に必ず足浴を同時に実施した。
  - ・ケア直後に患者に聞き取り調査を実施した。
  - ・病棟看護師にケアに対するアンケート調査を実施した。
- [清潔ケアの実施]
- ・全身清拭用のバケツと足浴用のバケツなどの必要物品を病室に用意し、足浴のお湯は40℃±1℃とした。
  - ・端座位で、足浴用のバケツに両足を漬けている間に、上半身清拭を行い、足浴、下半身清拭の順に実施した。

**効果確認**

1. 有形効果
2. 波及効果・・・ケア中のコミュニケーションにより、患者からは「足がさっぱりした」「お風呂に入っているみたいで気持ちよかった」という発言がみられた。
3. 無形効果・・・時間が短縮したことで、他の業務に対応できるようになった。  
看護師の清潔ケアに対する意識が向上した。

**標準化**

何を	いつ	どこで	だれが	どうする
足浴を	全身清拭時に	病室(ベッドサイド)	ケア担当者	一緒に行う

サークルのメンバーが移動などで不在となっても、全身清拭時に足浴を同時に行う清潔ケアが継続してできるようにクリカルパスに組み入れる。

**まとめと今後の課題**

1. まとめ
  - 1) 全身清拭時に足浴を同時に行うことで時間が短縮し、患者の疲労感が少なく全身の爽快感が得られた。
  - 2) 清潔ケアに対する看護師の意識向上が得られた。
2. 今後の課題
 

クリカルパスに組み入れることで、全ての患者に同意が得られるわけではない。そこで患者の状態に合わせた清潔ケアができるようにアセスメントが必要と考える。